

妙安寺だより 379

門田()上人、

平成28年1月24日(日)10時55分、当山第27世住職、でありました門田正英上人が73歳(満71歳)をて、遷化(教化の場所をす。逝去)いたしました。

檀信徒の皆様方には、故人の意思に従い、病状や状態をお知らせ致しませんでした。

ここで、遷化に至るまでの経緯を申し上げます。

①平成26年6月、血液中のタンパク質量が多かった為、九州医療センターでの精密検査の結果、肺

がんが発覚。骨髄にもがんがある可能性があるが、先ずは肺がんからということで、同年9月に手術。

②平成26年11月から翌27年1月まで、3週間に1度の頻度で入院による抗がん剤治療を行う。

③その後は、血液内科に通いながら、経過観察。

④平成27年11月、年に1度の定期検診(於、済生会病院)の結果、腎臓等に影がある、との事

から、九州医療センターにてペットーCT(全身に放射線を入れての検査)を受ける。

⑤12月8日、昼食後、貧血にて倒れる。救急車にて九州医療センターへ搬送。輸血にて改善し帰宅。

⑥同月10日、ペットーCTの結果、肺がん・多発性骨髄腫が全身に転移。緩和ケア(ホスピス)にての治療を提案され、同21日より警固の秋本病院にて診察。

⑦平成28年正月3ヶ日の回向・祈願をお寺にてする。

⑧同月7日頃より、着替え・トイレ・階段の昇降が困難になる。

⑨12日、秋本病院での診察で「体の痛い場所をキリで刺したいくらい」と訴えた事から、翌週18

日以降、病室が空き次第、入院し緩和ケアに入る事が決まる。

⑩14日夕方、トイレに30分以上こもっていた事から心配になり様子を見ると、立ち上がる事も出

来ない状態に。救急車を呼び秋本病院へ。発熱(39度1分)があり肺炎の恐れがあることから緊急入院。小康状態となり18日より緩和ケア病棟に移る。

⑪17日、総代・世話人会議で報告。住職交代式を行う事については白紙とする。

⑫21日、住職と院首の妻が主治医と面談。今週か来週初め頃までの命、との宣告を受ける。

⑬23日午前9時過ぎより正午前後まで、四国に嫁いだ院首の娘が看病。

午後4時過ぎ、住職が様子を看に行ったところ、看護師がすぐに入室。血圧の上が60台まで下

がった事から、連絡をしようとしていた、との事。院首の妻・娘・香川の義息と孫を呼びよせる。

午後11時には小康状態となった為、院首の妻と四国に嫁いだ娘と孫娘が病室に泊まる。

⑭24日午前9時過ぎ、看護師が足の状態を見るとチアノーゼ(酸素が行き渡らない状態)が起きて

いた為、家族全員が病室に集合。午前10時35分、痛みもなく、静かに息を引き取る。10時5

5分、医師により死亡確認。

同日午後4時、馬出、住職、渡邊上人により、枕経を執り行う。

⑭ 25日午後6時、（お寺の副保証人）篠栗、妙覚寺住職、野出上人を導師に通夜式を行う。

⑮ 26日午前11時、（お寺の保証人）直方、長遠寺院首、栗原上人を導師に告別式を行う。

院首の遺言により、「葬儀は1回でいい」、との事から、1月26日は「告別式」という形を取り、七七日（49日）にあたる3月12日（土）に「葬儀」を、宗務総長・身延山住職、小松上人を導師に行います。

平成28年3月の行事予定

◎当山第27世住職、院首 本葬儀

3月12日（土） 午後 1時より

*駐車場は使用できません。

◎春季彼岸お施餓鬼法要

3月23日（水） 午後 1時より

◎お彼岸の回向回りは通常通り、行います。